

(参考様式5)

平成20年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	伊賀市	伊賀市地区	平成17年度～平成19年度	平成17年度～平成19年度

1 施策ごとの評価

(1)ソフト

ア 施策の内容: 伊賀流里山づくりを推進する地域連携システム

イ 施策の実績

(コメント)

目標:1、目標:3については、徐々には情報発信・啓発はできたが、まだまだ浸透には、時間がかかる。目標:2については、平成16年の市町村合併以降、「伊賀地域グリーン・ツーリズム推進協議会」を立ち上げが、市内全域の情報を把握するだけの拠点は未整備である。

ウ 施策の効果

(コメント)

管内住民へは、啓発により、積極的に都市部と農業体験等の交流を深めようと取組む地域がでてきているので、更なる啓発を推進したい。管外へは、情報発信が徐々に浸透し、来訪者は微増してきている。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2)ハード

ア 施策の内容:

イ 施策等の実績

(ア)実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	

事項	単位	計画時 (○年度)	目標値 (○年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

(イ)施設等の利用実績

施設等名()

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計
		利用人数															
		利用日数															
		延べ利用 室数															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	伊賀上野観光協会の入り込み客数	1,100,000	1,080,898	98.26%	
	モクモク手づくりファームの入り込み客数	69,736	41,391	59.35%	
地域					

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載
 情報発信が、弱い。
 モクモクについては、17年度に宿泊施設が、オープンのため情報の浸透に時間がかかった。

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)
 目標の達成状況は、ある程度の水準には達しているものの、モクモク手づくりファームの入り込み客数については、まだまだ改善すべき点があるように感じられる。H17年度途中で運営が開始されたことも影響していると考えられるため、今後、情報発信(HP・ポスター・チラシ作成・新聞折込み等)の強化・新たな方法の検討、情報の共有化を通じて、入り込み客数の増加に努める必要がある。

4 総合評価

(コメント)

平成16年11月の市町村合併以降、地域間の連携を強化を図るために「伊賀地域グリーン・ツーリズム推進協議会」を立ち上げたが、まだまだ地域単独の取組みになっている。今後は、地域間の連携の強化と情報の共有をし、伊賀各地域の特色を活かした都市部との交流に関する受入体制を確立させるとともに、連携した多様な情報発信を行う。

また、年間を通して都市部と農村部が農業体験等の交流を深めようと積極的に取組もうとしている地域や農家民宿営もうとする民家がでてきていることから、更なる取組みを推進したい。

(都道府県の意見)

(コメント)

平成16年度11月の市町村合併を期に、伊賀地域内の連携を強化するために「伊賀地域グリーン・ツーリズム推進協議会」設立した。これにより、地域内にある程度の連携が生まれ、関係者間での視察、ホームページを通じた情報発信力の強化など、グリーン・ツーリズムをより活性化させていこうとする取組は実施されている。

しかし、まだその体制は未成熟であり、活動自体も少ない。また都市との交流を通じた地域づくりを実践している地域が他にも見られることから、その地域との連携も含め、伊賀地域グリーン・ツーリズム推進協議会の体制をより強化し、受入体制の整備、情報発信力の強化に取り組む必要がある。